

『明智光秀からの手紙 ー丹波攻略戦を語る史料ー』の刊行について

地域振興部文化・スポーツ振興課

1 仕様等

名 称：『明智光秀からの手紙 ー丹波攻略戦を語る史料ー』

サ イ ズ：A4判

ペ ー ジ：110ページ（表紙含まず）

印刷部数：3,000部

販売開始：令和3年1月1日（祝・金）

販売場所：福知山城天守閣 佐藤太清記念美術館 福知山市役所会計室（1月4日から）

販売価格：1,100円（税込）

構 成：ごあいさつ／監修のことば／目次・凡例

図版

図版解説・凡例

論考 明智光秀の丹波攻略戦

関連年表／図版等一覧表／主要参考文献

2 本書の特徴

- (1) 戦国時代に丹波の覇権をかけて戦場を駆けめぐった明智光秀や関係武将の残された手紙から、その息づかいを感じ取ってもらえるような図録を製作しました。
- (2) 令和2年1月11日から福知山市佐藤太清記念美術館の2階でスタートした「福知山光秀ミュージアム」での特別展示史料を集大成した図録であり、光秀による丹波攻略戦にかかわる一次史料を紹介するとともに、論考や年表によって詳細に解説しました。
- (3) 【図版】【図版解説】 明智光秀の丹波攻略戦に関する光秀と織田信長、氷上郡黒井城主荻野直正、福知山城代明智秀満等、丹波や福知山に関わりのあった武将が発給した文書をできる限り集録して、写真図版（全62通・オールカラー）及び解説文・翻刻文を掲載しました。
図版が無いもので、丹波攻略戦等に関連のある文書は【参考】として解説文・翻刻文を掲載しました。
- (4) 【図版】【図版解説】 福知山城代であった明智秀満について、現在確認されている秀満の文書6通すべてを図版付きで掲載しました。
福知山城築城の実務担当者は明智秀満であったことが浮かび上がってきました。さらに、大工などを大量に動員して大規模な作事工事を配下の者に命じていたことも判明しました。
- (5) 【論考 明智光秀の丹波攻略戦】 明智光秀の丹波攻略戦で最も頑強に抵抗した多紀郡（現丹波篠山市）の波多野氏と氷上郡（現丹波市）の荻野氏の動向をまとめました。また、光秀の丹波攻略戦を本書に掲載した写真図版と対応させながら概説しました。
- (6) 【論考 明智光秀の丹波攻略戦】 「本城惣右衛門覚書」は近年「本能寺の変」に、光秀配下で従軍し見聞した記録を残したことで注目されています。この「覚書」は、本能寺

の変の記載部分以外にも丹波での戦闘について詳しく記述されていますので、改めて論考で紹介しました。

また、本書において初めて、「本城惣右衛門」は、もとは黒井城主荻野直正（赤井悪右衛門）の家臣であったことを確認し、この論考で発表しています。

3 図版掲載文書

- ・明智光秀（図版37通、参考（図版なし・解説と翻刻のみ）14通）
- ・明智秀満（図版6通）
- ・織田信長（図版4通、参考2通）
- ・荻野直正（図版3通）
- ・その他（図版12通、参考1通）

※詳細は別紙「図版等一覧表」のとおり

4 監修・執筆

監修 小和田哲男氏（静岡大学名誉教授・公益財団法人日本城郭協会理事長）

執筆 芦田岩男（佐藤太清記念美術館主任学芸員）

5 その他

福知山市では『明智光秀の生涯と丹波福知山』（平成29年3月初版）、『福知山の治水とまちづくりー明智光秀・城下町・治水ー』（平成31年3月非売品、市HPで公開中）に続く、企画・編集です。

問い合わせ

福知山市佐藤太清記念美術館（0773-23-2316）

担当：芦田岩男（主任学芸員）

文化・スポーツ振興課（0773-24-7033）

担当：西村正芳（文化振興担当課長）（内線 5331）

今西克成（文化振興係主査）（内線 3134）